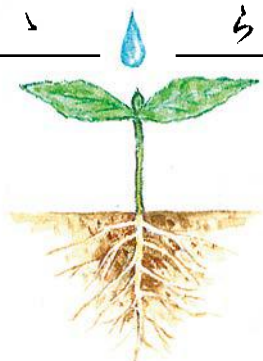


内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 41 号

発行所：内科 小児科 漢方 浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

(パソコン) <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>

e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp

発行日：2003年4月5日(土)

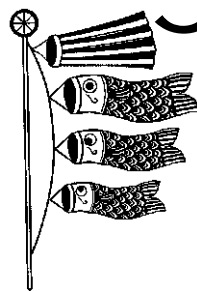
発行者：浮 田 徹 也



漢方薬のよち(41)

四 診

I



いたるところで春を感じる季節です。桜、たんぽぽ、つくし、めだか、空や水の色、空気が、会話など春そのものです。五月が近づくと、あちらでもこちらでもお祭などの行事が始まります。ほとほとという言葉を考えて見ましょう。最近、憂鬱になったり、不安を感じたり、イライラされる方が増えています。仕事、学習、趣味、恋愛、食事などは、ほどほどがよいのではないでしようか。例えば、私が診察する時、必要な症状を聞き、必要な検査をして、必要な薬や生活や心の指導をすることが大切で、検査をし過ぎてても無用でし、薬を出し過ぎてても害になります。病気の説明でも詳しくし過ぎてても理解できなかつたり、頭の中が混乱したり、不安になったりするでしょう。ほどほどがよいの

です。食事もほどほどでないと、胃を壊したり、栄養のバランスが崩れてしまいます。仕事も学習も恋愛も同じです。何事にも完璧を求めると、そのうち息苦しくなり、憂鬱になります。全においてほどほどの生活を送



海 津 の 桜

りたいものです。
今月は四診についてお話しします。
見る(望)、聞く(聞)、問診(問)、触診(切)のことです。
患者さんの顔や皮膚や便や尿の色、歩き方やしぐさなどを診察することを望、声、心臓や肺やお腹の音、呼吸や咳の音を聞くことを聞、病歴や症状を聞くことを問、お腹や脈を診ることを切と言います。これらを総合して、漢方薬を決めます。私の場合、血液、尿、超音波、MRIなどの検査も参考にして漢方薬を決めます。では、実例を挙げましょう。
六五歳女性 「骨粗鬆症」
腰痛、背中の痛み、疲労感を訴え来院。顔色は青白く、肌は荒れ、お腹は軟らかく、心下部も下腹部も軟弱。脈は弱く、舌は淡紅色、薄い白苔。骨量検査で骨粗鬆症と診断し、フォサマックと疎経活血湯を処方。三ヶ月後、腰痛、背痛などが改善。フォサマックと六君子湯に変更。一年後、骨量が少し改善。二年後、骨量も更に改善し、現在も同じ薬を継続中。
四七歳女性 「子宮筋腫」





顔色は赤黒く、肌は荒れ、下肢の血管が浮き出ている。月経量が多く、月経痛のため鎮痛剤を服用中。お腹は硬く、心下部、右肋骨下、臍の両側に抵抗圧痛。脈は沈んでいるが力強い。舌は紅色、薄い黄苔、舌下静脈は太い。約五分の筋腫と貧血を認めたが、子宮癌（頸癌、体癌）検査に異常なく、大柴胡湯を処方。四ヶ月後、右肋骨下の抵抗が消失したため、通導散と桂枝茯苓丸に変更。六ヶ月後、月経量が減り、貧血もなくなる。五二歳で閉経。子宮筋腫の大きさは変わらなかったが、漢方薬を服用していると体調がよく継続中。

三六歳女性 「めまい」

三、四年前に、めまいの発作で入院したことがある。その時、MRIなどの検査で脳や耳に異常がなかった。顔色は青白く、目の周囲がむくんでいる。腹は柔らかく、心下部で音がする。臍の上に動悸を触れる。脈は沈んで、太い。舌は大きく、淡紅色、薄い白苔。そこで、五苓散を処方し、めまい発作の時に、苓桂朮甘湯を服用するように指示。

同時に、めまいのための注射をした。次第にめまいの症状は減り、一年後廃薬。

二九歳女性 「妊娠中の腰痛」

妊娠一九週、腰痛で来院。切迫流産、便秘、水腎症などの疑いがなく、赤ちゃんの成長は正常。下肢に鍼を施し、当帰建中湯を処方。鍼を二、三日毎に実施。二週間後、腰痛が消失。当帰建中湯を更に二週間処方して廃薬。

当院独自の診療スタイルで、

診察や説明をスムーズに行えるように工夫しています。ご自分の訴えに対する診断や治療の説明、次回診察日時、診察や治療の予定、今後の治療計画についてよく分からないことは十分に聞いてからお帰り下さい。検査結果を早急にお伝えすべき時は、当院からお電話（携帯も含む）することがあります。必ず、連絡先、連絡時間を問診表にお書き下さい。変更される時は、受付にお申し出下さい。

次回は、便秘についてです。



【院長】



子宮筋腫

平滑筋腫で、過多月経（貧血）、月経痛、不妊症などの原因の一つです。また、子宮体癌、子宮肉腫、卵巣腫瘍などと区別するため、超音波検査、血液・尿検査、子宮癌検査、MRI検査もします。漢方薬、ホルモン剤、生活や心の指導を利用します。



骨粗鬆症

骨量は、成長期のカルシウムや蛋白の摂り方、運動の仕方が影響しています。女性の骨量は閉経以後、急速に減少します。男性は、50歳を過ぎるころから徐々に減少します。当院は、漢方薬と西洋薬、生活や心の指導をしながら治療します。



めまい

生命にかかわるめまい（脳梗塞、出血、腫瘍、外傷など）でなければ、漢方薬中心の治療で効果があります。発作の時は、注射や点滴でめまいがよくなることがしばしばです。めまいを起こしやすい体質を改善することが必要です。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膝炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、陰分泌、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーをご希望の方、診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き処置の欄にチェックして下さい。

皮内針、針管付き鍼

内皮針は1～2mm、針管付き鍼は30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。
・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリスク

漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

在宅訪問診療とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～72回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅診療についてお気軽にご相談下さい。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

寝たきり老人在宅総合診療とは

病院及びその他あらゆる老人用施設に入所できず、家庭で家族が介護している人の家に行き、居宅療養のお手伝いをする制度です。
費用は1割の負担になります。
介護保険に制約されません。

外 来 診 療 時 間

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|--------------------------|---|------|---|---|------|---|---|
| 午前9:00～正午 (月～土) | ○ | 妊婦外来 | ○ | ○ | 妊婦外来 | ○ | — |
| 午後5:30～午後7:30 (月、水、金) | ○ | — | ○ | — | ○ | — | — |

- ◆漢方外来(月～土)：内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科・・・など全科
 ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方、思春期の方(女性、男性、どなたでもお越し下さい)
 ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
 ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診、妊娠中の方(火)午前11:00～正午は赤ちゃん健診、産後健診
 ◆助産婦相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談 午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：4月25日、5月23日、6月6日(金)
 7月4日、8月22日、9月6日(金)

対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

場所：当院1階 申込方法：申込ノートでご予約して下さい。

後期-母親教室

日時：4月9日、23日、5月7日、21日、6月4日(休)
 6月18日、7月2日、16日、8月6日(休)

対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

アマンディーヌ(アーモンドクリームのタルトレット) Amandine
 さっぱり甘いタルト生地にアーモンドクリームを詰め、アプリコットジャム
 を塗って仕上げたお菓子です。

タルト・オ・フルーツ(Tarte aux fruits)

小さなフラン型にタルトをつめてフルーツを飾りました。「春」をそのまま
 お届けします。



妊 娠 中 の 腰 痛

痛みの原因がなにかを診断することが大切です。診察(問診、内診)や
 検査(超音波、尿、血液、膣分泌物など)をして診断します。

具体的には、流産、便秘、筋肉痛、椎間板ヘルニア、卵巣腫瘍、
 膀胱炎、腎盂炎、卵管炎、虫垂炎などが問題になります。

生活の指導や薬(内服薬、点滴、湿布薬)や鍼を利用します。



分娩予約

当院で分娩を予定しておられる方、できるだけ
 早く受付で予約して下さい。

分娩予約カードと予約金5万円が必要です。

予約された方に、母子のてびきをお渡します。

助産婦相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。
 お一人およそ15～20分に対応します(無料)。

日時：第2、3金曜日 午前8:40～午後12:30

立会い分娩

あらかじめ、受付でお申し込み下さい。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。

日時：毎週火曜日 午前11:00～正午(有料)

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

Dr. ウッキーの悩み相談をご利用下さい。
 診察時間、診察内容、料金、(診察と薬、お産、中絶)
 のことはホームページをご覧ください。

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メ
 ニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

パソコンホームページ (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

当院の漢方治療や産婦人科治療、お部屋、食事
 母親教室、駐車場、当院への交通などの情報。
 問合せはメールをご利用下さい。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接：随時、
 各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。